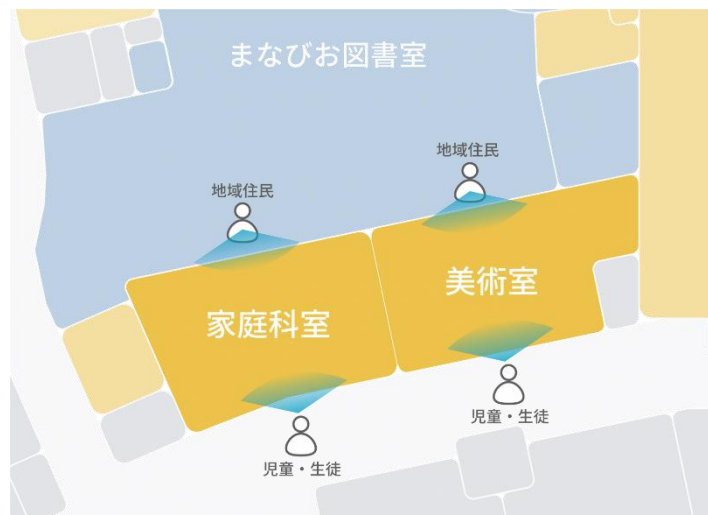


## 複合化・多機能化事例

追加資料1

### 北海道 安平町立早来学園

- 共有スペースは子どもたちと地域の人との入口を分けている。オンライン予約システム導入。
- 大人は、顔認証システムの登録者のみ学校エリアに入ることができる。



# 8

## 埼玉県志木市 志木市立志木小学校

### 地域コミュニティに支えられた学社融合施設

- ・資料が豊富な公共図書館を学校の教育活動でも利用
- ・ハードとソフトを組み合わせた柔軟な防犯対策
- ・施設の相互利用により、児童と地域の学習活動の幅を拡大

- 学校規模 / 22学級 677名  
(特別支援学級 2学級7名)
- 複合施設(床面積) / 小学校 (10,489㎡)  
公民館 (1,704㎡)  
図書館 (1,034㎡)
- 整備時期 / 平成 15年
- 構造 / SRC造地下2階地上4階



普通教室棟と生涯学習棟をつなぐ2階テラスとブリッジ

### 施設整備に要した期間 (構想・計画等から工事まで)

|        | 平成9年度 | 平成10年度 | 平成11年度  | 平成12年度 | 平成13年度 | 平成14年度 |
|--------|-------|--------|---|--------|--------|--------|
| 構想・計画等 | →     |        | 平成9年5月 志木小学校・社会教育施設等複合化プロジェクトチーム設置 (区内関係機関 関係者参加、全15回実施)<br>平成11年1月 志木小学校・公民館・図書館複合施設建設検討委員会設置 (市民検討委員会、全体会12回、部会10回実施)<br>平成11年3月 基本構想決定 |        |        |        |
| 設計     |       |        | →   |        | →      |        |
| 工事     |       |        | →   |        | →      |        |

### 施設整備の背景

- ・志木小学校と、近接する公民館・図書館の建物の老朽化・耐震化問題の解決策として、学社融合施設とする案が浮上。
- ・地域に開かれた学校として、児童と地域の人々が直接交流の機会をもつことで、学習の相乗効果が現れることを期待した。
- ・既存校舎のうち、北・西校舎は取り壊し、南校舎は耐震補強を残すこととした。

### 管理・運営の体制

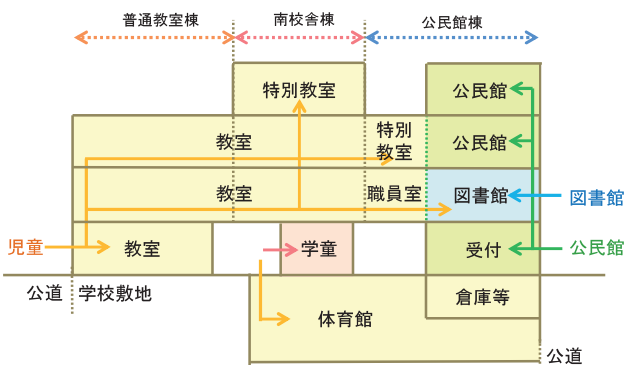
| 施設      | 利用時間 (平日) |    |    |    | 所管    | 管理・運営 |
|---------|-----------|----|----|----|-------|-------|
|         | 8         | 12 | 17 | 22 |       |       |
| 小学校     | ←→        |    |    |    | 教育委員会 | 教育委員会 |
| 公民館     | ←→        |    |    |    | 教育委員会 | 教育委員会 |
| 図書館     | ←→        |    |    |    | 教育委員会 | 教育委員会 |
| 学童保育クラブ |           | ←→ |    |    | 市長部局  | 市長部局  |

※月曜日は公民館・図書館が共に休館日のため、小学校が事実上貸切のように使用することができる。

### 施設の配置・動線

- ・学校と図書館・公民館で棟や入口は違うものの、明確な区分はほとんどなく、図書館などは児童と地域が同じ時間に利用している。

#### <立面図>

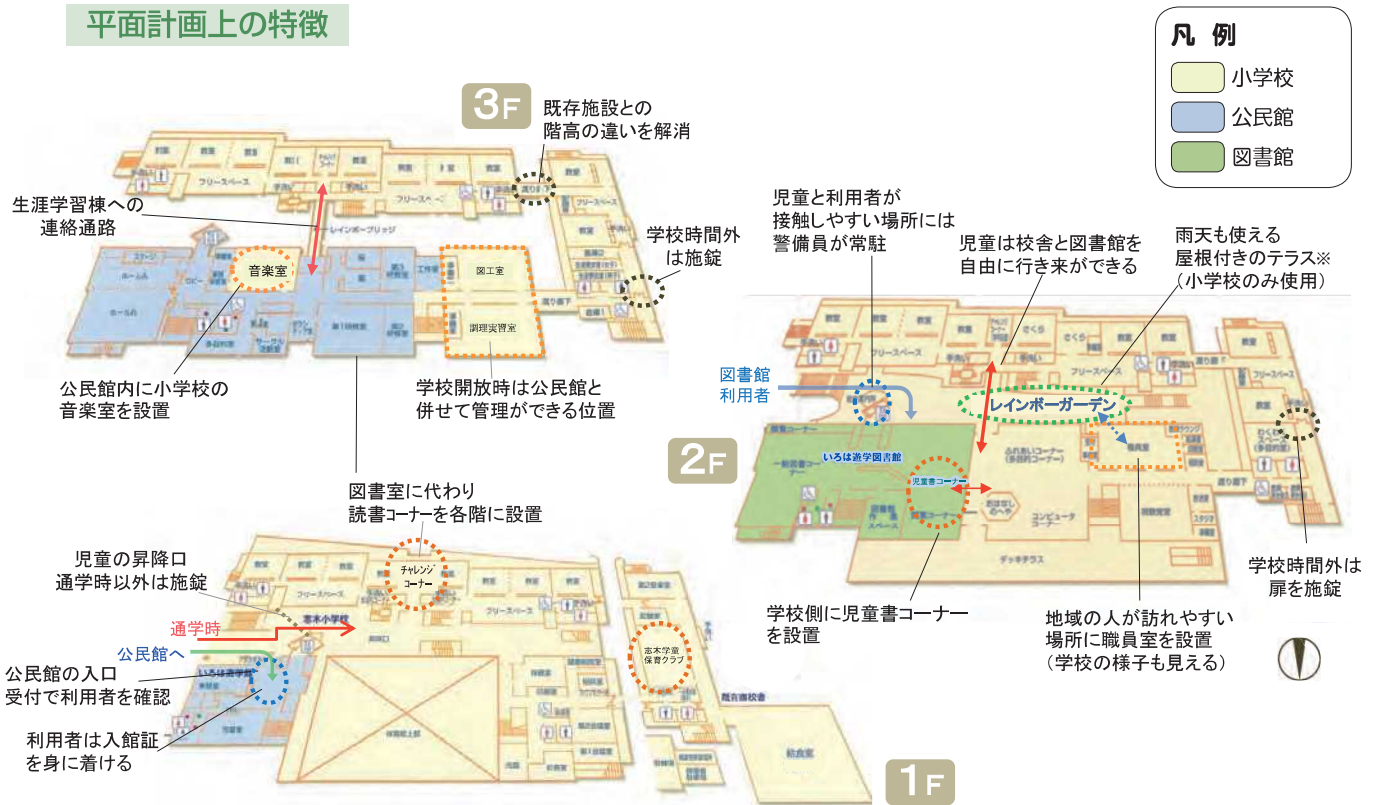


#### <配置図>



凡例 □ → 小学校 □ → 学童 □ → 図書館 □ → 公民館

## 平面計画上の特徴



現地調査

## 相互活用・交流活動

学校と社会教育施設の学社融合施設として、設備も人も活用した独自のカリキュラムにより、学習内容や活動の幅を広げる

### <図書館の活用>

- ・ 小学校は、資料の豊富な公共図書館も活用可能(本の貸出しだけでなく、1日約3クラスが授業でも利用。)
- ※校内の各階には、各学年の学習状況に応じた本を揃えたチャレンジコーナーを設置

### <公民館や利用者の活用>

- ・ 音楽室やPCルーム、ホール等は共有で使用
- ・ 小学校のクラブ活動や課外活動を、公民館の利用団体が支援

### ▶ 公共施設の有効活用により、児童と地域の人々の学習機会も向上

- ・ 日常的に公共施設を利用したり、地域の人々と交流したりすることで、自然と社会性が身に付く



児童による貸出し業務体験もできるなど、複合した公共図書館を利用する児童が多い



校内のチャレンジコーナーには、専門職員が厳選した図書が並び

## 施設関係者のコメント

- ・ 創立140年の志木小学校は、昔から地域の人々に親しまれ、地域コミュニティに守られてきた小学校である。
- ・ 図書館や公民館の利用者もある程度は顔見知りである。
- ・ 児童が日常的に図書館や公民館を安心して利用できるのは、このような強い地域コミュニティが基盤にあるためである。

## 防犯対策

児童と公民館・図書館利用者との動線はあえて明確に分けず、大人の目で児童を守るという方針で運営

### <背景>

- ・ 地域で学校の児童を守ろうという意識が強い地域である(防犯対策については、あらかじめ地域と話し合い、理解を得ている)
- ・ 教職員だけでなく複数の施設の職員と一緒に児童を見ている
- ・ ガラス張りの壁等、見通しのよい施設であり、目が届きやすい

### <その他防犯対策>

学校の安全主任は図書館と公民館の担当者と適宜打合せを実施、施設の管理運営委員会において危機管理マニュアルを作成、常駐警備員の配置、3施設合同の避難訓練・防犯訓練(年に3回)、防犯監視カメラの設置(20台)、利用者は入館証を着用全職員・教職員がPHSを携帯

### ▶ ハードとソフトを組み合わせた柔軟な防犯対策をとることで、児童の活動範囲を広げることができている



見通しのよいガラス張りの校舎



小学校のテラスと図書館の入口が近接する2階には警備員が常駐



公民館の入口にある受付で利用者を確認



地下の体育館の様子も、公民館から見る事ができる

富山県南砺市  
南砺市立利賀小学校  
南砺市立利賀中学校

地域に開かれた学校アーパス (All Persons' School)

- ・地域づくりは人づくり
- ・児童生徒のみならず村民の生涯にわたっての学習機会の保障
- ・十数回の検討会により村民の地域施設として結実

- 学校規模／小学校 3 学級 16 名  
中学校 3 学級 18 名
- 複合施設(床面積)／小・中学校 (8,212㎡)  
公民館 (1,522㎡)
- 整備時期／平成 10 年
- 構造／RC 造地上 4 階地下 1 階



敷地高低差を生かし各施設のアプローチを分離 (南砺市 HP より)

施設整備に要した期間 (構想・計画等から工事まで)

|        | 平成4年度 | 平成5年度 | 平成6年度  | 平成7年度 | 平成8年度 | 平成9年度 | 平成10年度                   |
|--------|-------|-------|--|-------|-------|-------|--------------------------|
| 構想・計画等 |       | →     | 平成4年12月利賀村複合教育施設整備基本構想策定<br>平成5年1月~平成5年3月文部省委託事業「文教施設のインテリジェント化に関するパイロットモデル研究実施」 |       |       |       |                          |
| 設計     |       | →     |  |       |       |       | 平成5年9月~平成8年11月基本計画・実施設計等 |
| 工事     |       | →     |  |       |       |       | 平成5年3月~平成10年6月用地買収・建設工事等 |

施設整備の背景

- ・旧利賀村において、少子高齢化、過疎化が進み、平成元年に2小学校の統合と中学校の老朽化に伴う改築の検討がされた。
- ・その後、社会教育施設を併設する村民のための複合教育施設構想の実現のため、文部省「文教施設インテリジェント化に関するパイロットモデル研究事業」により、基本計画を策定し実現した。

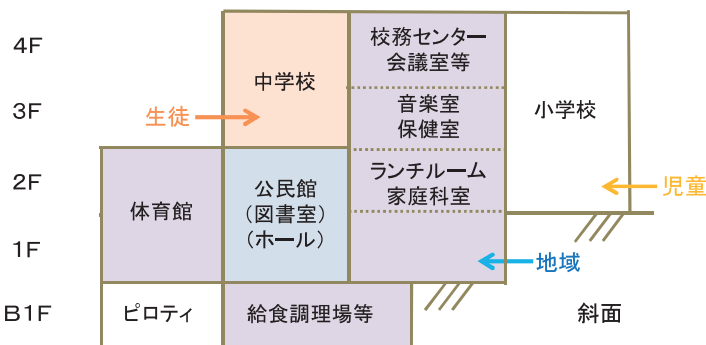
管理・運営の体制

| 施設      | 利用時間 (平日) |    |    |    | 所管    | 管理・運営 |
|---------|-----------|----|----|----|-------|-------|
|         | 8         | 12 | 17 | 22 |       |       |
| 小学校・中学校 | ←→        |    |    |    | 教育委員会 | 教育委員会 |
| 公民館     | ←→        |    |    |    | 教育委員会 | 教育委員会 |

施設の配置・動線

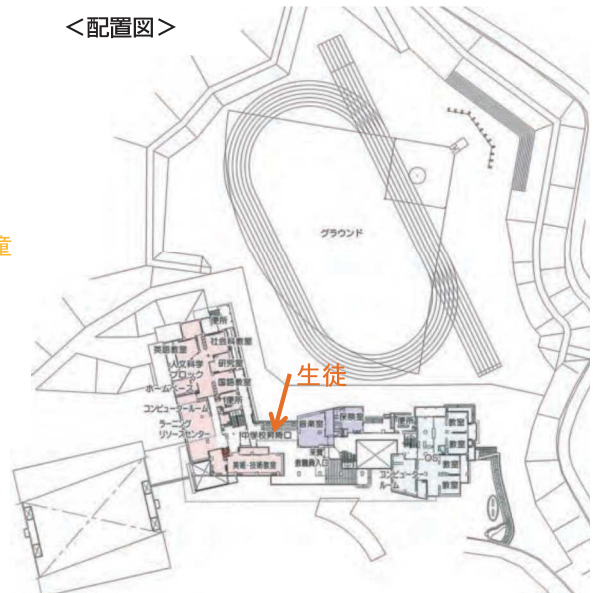
- ・高低差を生かし、村民が主として利用する公民館は1階、小学校は2階、中学校は3階から各施設にアプローチする計画とし、内部は相互利用を想定した計画としている。

<立面図>



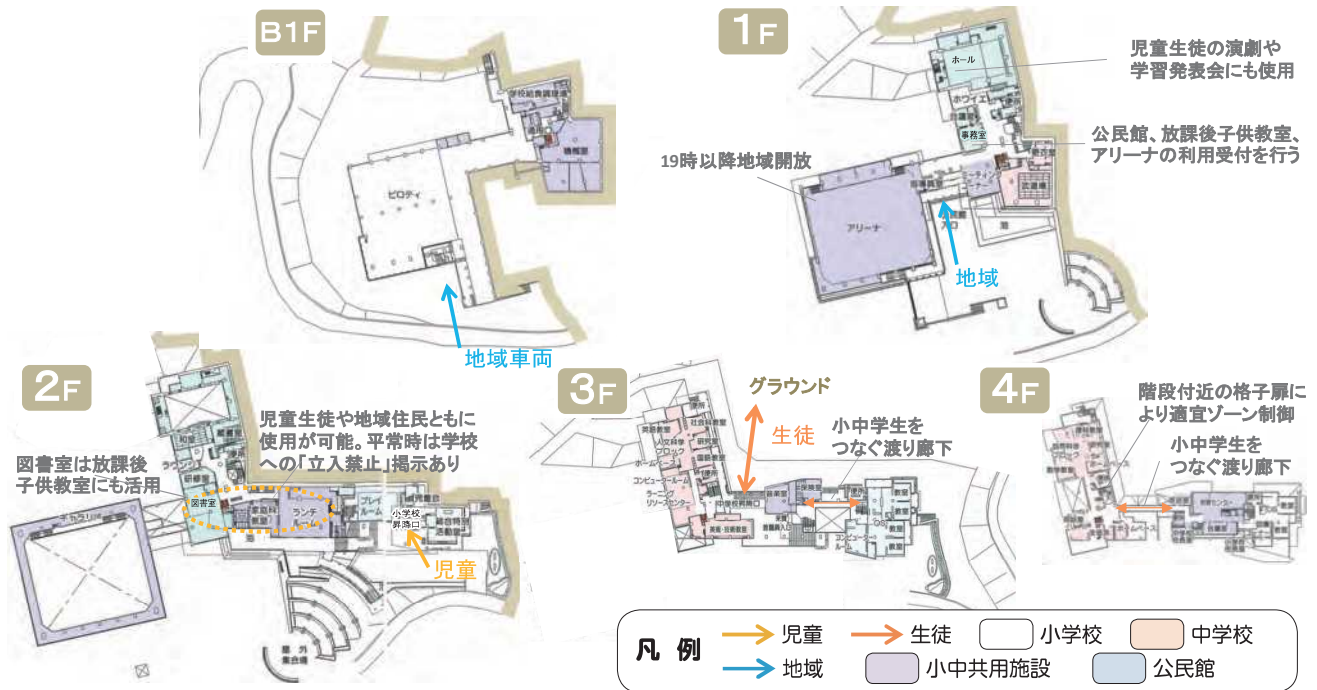
- 凡例
- 児童
  - 生徒
  - 地域
  - 小学校
  - 中学校
  - 小中共用施設
  - 公民館

<配置図>



## 平面計画上の特徴

- ・小中学校共用の家庭科室や和室を、公民館と同じフロアとすることで地域の利用者の使用を容易にしている。
- ・学校と公民館の使用時間に応じ、格子扉等の開閉によりゾーン分けをしている。



## 相互利用・交流活動

- ・公民館では公民館内のホールや和室、図書室の利用受付だけでなく、19時以降の学校開放による体育館の利用や放課後子供教室の受付も行っている。
- ・アーパスホールは児童生徒の学習発表会や地域内の文化祭、民謡など伝統文化継承活動などに利用されている。
- ・公民館図書室は、児童生徒が授業で活用するだけでなく、放課後子供教室としても活用している。



学校開放等の受付も行う公民館受付



地域のスポーツ大会が開催される学校体育館



ホールにて伝統文化継承活動の一環として、民謡を練習する子供たち (同小HPより)



放課後子供教室にも活用される公民館図書室

➔ 3施設が重複する機能をまとめ、相互利用を想定した計画とすることで、単独の学校、公民館にはない賑わい、活気を創出。

## 防犯面

- ・地域の方々に見守られているという安心感の中で、地域と学校が一緒になって子供たちを育てていくという考えのもと、学習参観や学校行事等に多くの方が参加する状況となっている。
- ・地域の方々も顔見知りであり、今まで不審者侵入などはないが、学校長は、児童生徒の避難方法について特に留意している。



区分管理のための格子状の扉



不審者訓練をする子供たち (同小HPより)

## 委員の意見より

- ・今後、山村留学を積極的に受け入れることにより、当該施設を一層有効に活用できるとよいのではないかと。
- ・穏やかな山村地域であり、互いが顔見知りの関係であることもあって施設の管理運営上の課題が大きいとは感じられないが、不審者の侵入について学校管理者には潜在的な不安がある。このため、防犯訓練も周到に行っている。
- ・小学校、中学校、公民館が一体化し、地域住民が集まりやすく、学校が地域に見守られている環境となっていることは評価できる。